

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	3
事業名	障害者自立支援事業	会計	款	項	目
施策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	1
施策	3-4 障がい者福祉の推進	課名	地域福祉課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障がいのある方とその家族	目的 (対象がどのような状態になっているか)	障がいのある方とその家族が、地域で自立した日常生活や社会生活を営み、安心して暮らせるよう支援する。
事業内容	・障がいの状況やニーズ等に応じたサービス利用計画を立て、障害者総合支援法及び児童福祉法に規定する自立支援給付、障害児通所給付及び補装具給付等の各種障害福祉サービスの給付を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
2									
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			617,675		640,491		660,213		
財源 内訳	直接事業費 A		606,677		633,321		660,213		
	うち一般財源		195,136		174,077		169,950		
人件費 (千円) B			10,998		7,170		0		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.53	10098	0.95	6270			0
	臨時職員 (人・千円)		0.5	900	0.5	900			0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	複雑、専門化していく個々への対応について、提供体制の強化 (委託も含む) をしていく必要がある。また、相談支援専門員の確保が困難な状況になっているため、今後の対応を検討していく。	③取組の課題	障害福祉サービス (扶助費) は、今後も増加傾向が見込まれ、個々への対応も複雑化している。
②R3年度に実施した取り組み	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害福祉サービスを提供した。	④今後の改善計画	複雑、専門化していく個々への対応について、提供体制の強化 (委託も含む) をしていく必要がある。また、相談支援専門員の確保が困難な状況になっているため、今後の対応を検討していく。